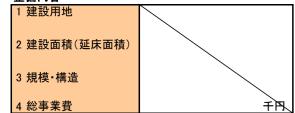
事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

	コード		名	称		区分	コード		名	称				
事業名	116 1	サルモ闘	振興一般経費(だんじり・鬼行列運		河海党即成全)			一般会計						
尹禾石	110-1	人心派共	放性員 (だん	/しダ尨1]列建呂助戍	款	02	総務費							
基本	53	サルの絆	みた海ドア 卅	仕門の		項	01	総務管理費						
施策	55	53 文化の継承を通じて、世代間の交流を進める						文化振興費						
施策	1	世代間交	- 本の世 4			細目	101	文化振興経費						
旭東		四八回义	流の推進			細々目	01	文化振興一般	経費					
基本	計画該	当頁		185	行	革大綱	の重点	点事項番号		6.7				
担当部課	1 		04	0200		平価者		森本 勝美	連絡先	22 -	9624			
프크마森	名称		企画振興部文化国際課			氏 名		林平 防天	医帕儿	(内線)	2120			

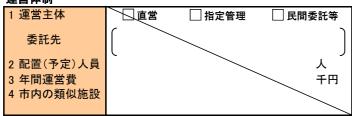
古类不乱声 古南

_	事業	の計画	•内容											
				対象等(何	を、誰を)			成果(どうなるのか)						
	事	上野美	術保存	会(だんじり9町で	とび鬼4町)		上野天	神祭りでだんじり・鬼行列の巡行を行うことができ、国の重						
	事業						要無形民俗文化財に指定されている行事を後世に伝承するため							
	目						の負担	を軽減できる。						
	的													
			-	(※対象件数	13町)								
	根扱	処法令・	要綱等	支所関係補助金	金交付要綱									
	開始	冶年度	平成	年度	関連事業									
	終	了年度	平成	年度	因廷爭未									
ı				民俗文化財に指				平成20年度に助成金を930千円減額した。						
				の振興、伝承を図	凶るため、上野	予美術保存会に								
	事			行った。	Uom-Tarida	• M= (= ₹7 /) → L = 7	大							
	業			記金としてだんじ		神川に配分される								
	事業内	れそれ	谷目冶金	会で事業運営を	けった。		変							
	容						化等							
							寸							
ı														
L		I												

整備内容



運営体制



事業種別 継続 単独 事業類型 I ソフト事業

事業実績

于木大模		実	績値	目	票値
活動指標	単位	H19	H20	H21	H22
上野美術保存会定時総会		目標 1	目標 1	1	1
上野天闸体什么た时秘云 		実績 1	実績 1	'	
だんじり、鬼行列の巡行		目標 1	目標 1	1	1
たんしり、尨1]列の巡1]		実績 1	実績 1	'	I
		目標	目標		
		実績	実績	1	

2次評価対象分

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位		実終		目標値			
事業の成本で関る目標	田宗政との考えり	辛匹		H19		H20	H21	H22	
上野美術保存会(加盟町)数	 現上野美術保存会の確保	町	目標	13	目標	13	13	10	
工野美洲体什么(加温叫)数	現工野美術体件云の唯体 	шј	実績	13	実績	13	13	13	
だんじり、鬼行列の巡行参加町	巡行に参加した町の数	町	目標	13	目標	13	13	13	
たんしゃ、尨川列の巡门参加町	巡1]「こ参加した町の数	μј	実績	13	実績	13	13	13	

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	国の無形民俗文化財に指定されているだんじり・鬼行列を後世に伝承するためには、囃子、曳き手、鬼等の人件費に加え、だんじりや鬼の面、衣装等の保存には修繕費を含む維持管理がかかるため、維持保存に努めている上野美術保存会に対し行政が支援する必要がある。
有効性	4	国指定重要無形民俗文化財として全国各地からも注目されている上野天神祭でだんじり・鬼行列の巡行を行うことができ、後世に伊賀市の中で育まれた文化を伝承することに寄与している。
達成度	4	計画どおりできた。
効率性	4	囃子、曳き手、鬼等の人件費に加え、だんじりや鬼の面、衣装等の保存・修繕費等の経費について、収支実績等から判断すると現状の金額を維持することが必要であり、これ以上の助成金減額による運営は極めて難しい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α		曳き手等の人員が少子化等の影響もあり減少している。今後、本行事を後世に伝承していくための、人員 確保について検討を行う。

	年度			平成1			内容 金額	平成20			内容 金額	平成2			内容 金額	平成22		計画内容	語	平成23		計画内容	平成2	4年度 計画	
況	委託工事		事業内容	助成金			(千円)				(千円)				(千円) 8,370	助成金			(千円)	助成金		(千円)			(千円) 8,370
	(%)			事業費計(A)		Σ	9,300	事業費計(A)		Σ	8,370	事業費計(A)		Σ	8,370	事業費計(A)		Σ	8,370	事業費計(A)		Σ 8,370	事業費計(A)	Σ	8,370
		事業投入人員	·	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人 720	人件費(B)	0.1 人	720
	フ	'ルコスト (A)+(B)		_			10,020				9,090				9,090	·			9.090			9,090			9,090

事業費(人件費除く)の財源内訳

7-71	具 \ / \						
(A)	事 業 費	9,300	8,370	8,370	8,370	8,370	8,370
	国庫支出金						
A	県 支 出 金						
りります。	地方債						
源	受益者負担						
内	その他						
訳	一 般 財 源	9,300	8,370	8,370	8,370	8,370	8,370
н	計	9,300	8,370	8,370	8,370	8,370	8,370
借	その他特定財源の名称・補助基本額・						
老	率						
-73	平 地方債の区分と充当率等						